

## 「生物物理化学」投稿規程

1. 生物物理化学は、原則として日本電気泳動学会会員の寄稿を掲載する。
2. 投稿原稿の種類は下記の通りとする。
  - 1) 原著および総説：電子版公開5頁以内（400字換算×16枚以内、図および表、計5枚以内）。規定以上に長い論文でも編集委員会で認めた場合に限って掲載することがある。ただし超過分に対しては実費の支弁を受ける。
  - 2) 短報（断片的な研究であるが、新しい事実や価値のあるデータを含む論文）、技術（技術、機器、試薬等の改良、考案等役立つ新知見を持つ論文）、症例報告（学術的に貴重と思われる症例についての報告）、その他：これらはいずれも電子版公開3頁以内（400字換算×8枚以内、図および表、計3枚以内）。
3. 論文の作成と投稿は下記によるものとする。
  - 1) 原稿はA4判の用紙に行間、周囲に余白をとり、1頁あたりの字数を「35字×24行＝840字（句読点、括弧を含む）」とし、新かな遣い、平がな交りの口語体で横書きとする。原稿受理後に電子ファイルの提出を求めるので、できるだけコンピュータソフト（Wordなど）で作成のこと。外国語は鮮明なローマ字で書き、数字はアラビア数字を用いる。単位はSI単位系（cm, mm, mg, g/dl, 37°C ...）を基本に用いる。
  - 2) 論文の記載は下記の順序による。
    - a) 表紙頁に論文の種類（原著、短報など）、論文題名、著者名、英文題名、ローマ字著者名、和文・英文所属機関名、英文連絡先住所氏名、e-mailアドレス、FAX番号および略号一覧を記載する。e-mailアドレスおよびFAX番号については掲載希望の有無を記す。
    - b) 英文要旨（SUMMARY）（250語以内）：ダブルスペースでタイプし、5語以内の Key words を付ける。
    - c) 本文、文献：頁数を付ける。本文は和文とし、右欄外に図および表の挿入箇所を指定する。
    - d) 和文要旨（400字以内）：5個以内のキーワードを付ける。
    - e) 図の説明、表、図：以下の 3)～5) により別紙に書く。
  - 3) 図および表（表題、説明、図および表中の字）には原則として英文、英字を用いる。
  - 4) 図はそのままで製版、印刷できるように鮮明に描き、1枚ごとに裏面に Fig. 1 などの番号と第1著者名を記入する。
  - 5) 表は表題の前に Table 1 などの番号をつける。
  - 6) 文献の記載法
    - a) 記載の順序は出所順とし、本文中に右片括弧肩付き番号を付ける。記載法は NLM Style Guide (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/bookshelf/br.fcgi?book=citmed>) にならう。
    - b) 例 雑誌：著者名（全員）。表題。雑誌名。西暦年号；巻数：初頁・終頁。の順に記載する。
      - 1) Polonis VR, Anderson GR, Doyle D.

Two-dimensional polyacrylamide gel electrophoresis analysis of phosphorylated, membrane-localized rat p21 protein. Arch Biochem Biophys. 1987;254:541-546.

なお、著者が4名以上の場合には、筆頭著者3名を記した後、「ら」（英語の場合は「*et al.*」）を付し、以下の著者名を省略することができる。

c) 例 単行本：和書、洋書共に著（編）者名。書名（巻数版数）。発行地名：発行社名；発行西暦年号。頁数。の順に記載する。

1) Takeo K. Affinity electrophoresis. In: Chrambach A, Dunn MJ, Radola BJ, editors. Advances in electrophoresis Vol. 1. New York: VCH; 1987. p. 229-279.

7) 原稿はオリジナル1部とコピー2部（写真コピーはオリジナルと同じものとする）を下記宛簡易書留で郵送する。なお、この際、封筒の表に“生物物理化学原稿”と朱書する。

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入  
中西印刷株式会社内  
「生物物理化学」誌編集係  
TEL 075-441-3155, FAX 075-417-2050

原稿（図、写真を含む）は電子メールの添付ファイルで送付してもよい。

（宛先：den-ei@nacos.com）。

但し、1度のメール容量は10MBまでに収めること。10MBを超える場合は、編集係に相談すること。

4. 論文の審査は原則として編集委員が行い、編集委員会は著者に審査結果を通知する。
5. 審査の結果改訂を求められた論文が、結果通知後2カ月以内に再投稿された場合の論文の受付日は第1稿の受付日とする。
6. 受理された論文は、最終原稿（Wordなどで作成したもの）と図や写真（カラー、グレイスケール 300 dpi、線画 1200 dpi）の電子ファイルを提出すること。
7. オンライン公開の際の初校は著者、再校以後は編集委員が行うことを原則とする。
8. 別刷は希望者のみへの実費頒布とし、希望部数（最小50部以上10部単位）を著者校正の際所定の申込書で注文する。
9. 本誌に記載された論文などの著作権は日本電気泳動学会に属する。
10. 投稿論文における研究については、ヘルシンキ宣言\*、実験動物の飼養および保管等に関する基準（昭和55年3月、総理府告示第6号）、各機関、施設あるいは専門研究分野で定められた実験ならびに研究指針および基準等を遵守したものでなければならない。  
\*学会ホームページ  
(<http://www.soc.nii.ac.jp/jes1950/>) にて公開。

(2010年10月改訂)